

# 英国国民投票 – 事前予想を覆しEU離脱派の勝利 –

## <英国国民はEU離脱を選択>

現地23日に実施された英国の国民投票は、EU離脱の賛成票が過半数を獲得し、英国のEU離脱が決定されました。

最終的な得票数はEU離脱が1,741万票と全体の51.9%を占めました。スコットランド地方やロンドン都市部ではEU残留派が勝利しましたが、それ以外の地域では離脱派が多数を占めました。

今後、英国はEU離脱に向けて、EUとの協議を開始することとなります。

## <リスクオフで円高・株安へ>

前日まではEU残留派が優位との報道がなされていたため英ポンド高となっていました。日本時間の24日早朝から開始された開票が進むにつれて離脱派の得票数が伸びたため、英ポンドは他通貨に対して急落しました。

同時にリスクオフの投資姿勢が強まり、円は米ドルに対して急騰し、一気に1米ドル=99円台に突入しました。その後、米ドルが買い戻されたため日本時間の16時現在で1米ドル=102円22銭まで戻っています。

急激な円高とリスクオフの流れから日本株も急落し、日経平均は前日比▲1,286.33円(▲7.9%)下落し14,952.02円と4カ月ぶりに15,000円台を割り込みました。

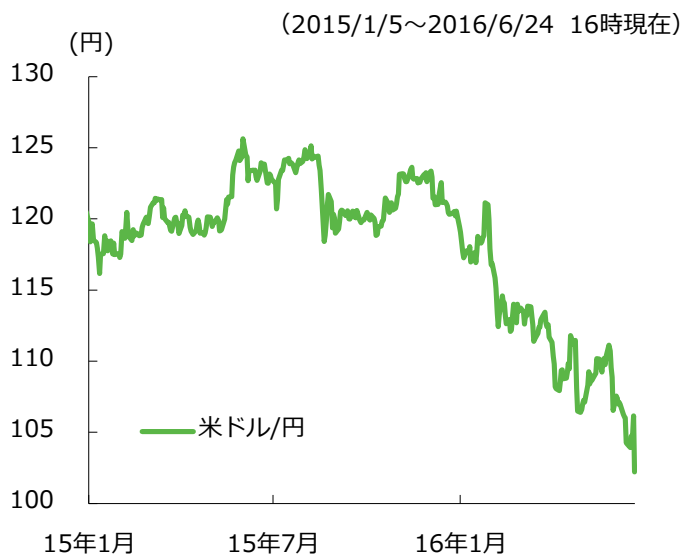
## <今後の見通し>

英国のEU離脱が決定したことから、他のEU加盟国内での離脱派の勢いが増すことが考えられます。そのため、欧州地域での政治リスクが高まると見られます。

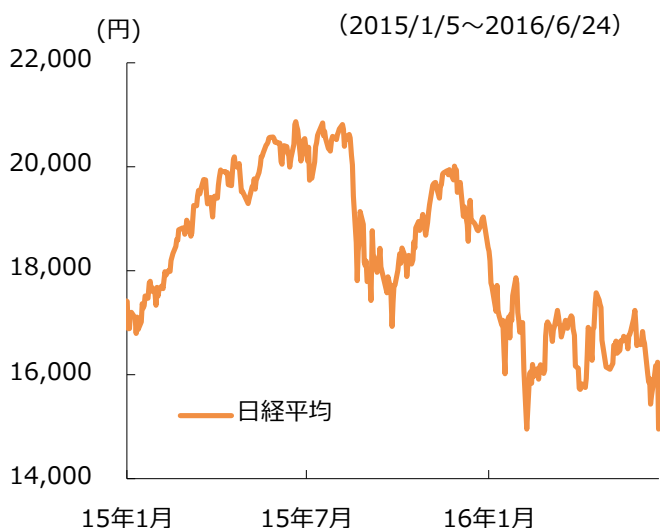
英国のEU離脱による影響が不透明なため、世界の金融市場はしばらく不安定な状況が続くと見込まれます。

一方で麻生財務相は急激な円高を受けて緊急会見を開き「必要な時は対応する」旨表明しました。今後の各国政府・中央銀行の対応に注目が集まります。

## <米ドル/円の推移>



## <日経平均の推移>



出所：Bloomberg